

パブコメ集計結果(自動車運送事業者によるCO2削減努力の評価手法、付加価値創出手法の開発(運送業 CO2))

1. 総数: 2件

2. 賛否について:

○賛成:	0件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	2件
○反対:	0件
計	2件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

・

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

・国が25%削減を実行させるには様々な国民の意識を注視させなくてはならない。本施策はまさに中小零細事業者が対応するべく手法を確立し、さらに継続できる仕組みが必要である。また、現状の中で正確なデータはなく、全て大まかな係数でしか整理されていないのが実態。そこで、早急に将来に向けての新たな手法が必要と思われるため、各業種別(トラック、バス、タクシー)に精度の高い排出量データを集め、それをベースに世界初の実運送でのベンチマークを設定して、基準を超えた事業者には努力評価をする道筋を与えることで、中小零細事業者への成果評価となり励みとなる。ぜひ取り組んで欲しい。

・各都道府県のトラック協会を活用し、運送事業者に全国統一のルールと仕組みで燃費データを構築していく政策を進めてもらいたい。

③反対

・